

組合特別職報酬の改定について

1 改定理由

本組合の特別職の報酬の額については、令和2年11月の総務消防常任委員会で報告した改定の考え方及び検討結果（以下「改定基準」という。）に基づき、一部事務組合はその基礎となる構成市町村の事務の一部を処理する団体であることから、中心市である米子市長の給料の額をベースに、予算規模等を勘案して定めることとしている。

令和8年4月から米子市長の給料の額が改定されることに伴い、本組合特別職の報酬の額を令和8年4月から改定しようとするもの。

2 算出方法及び方針

各特別職の報酬の額の改定に当たっては、次の改定基準により算出する。

（1）算出方法

①管理者の報酬年額

米子市長の給料年額に、米子市と本組合の直近の予算規模比率及び従事日数比率を乗じた額

②副管理者、議長、副議長、議員、監査委員（議員選任）の報酬年額

管理者の報酬年額に、管理者の報酬年額に対する各職の報酬年額の比率（対管理者報酬比率（令和2年度時点の比率））を乗じた額

③監査委員（識見を有する者）の報酬年額

その他の付属機関の委員の報酬日額に、年間の監査等実施日数（12日）を乗じた額

※ 監査委員（識見を有する者）の報酬は、他の特別職の報酬と比較して日当としての要素が強いと考えられるため、その他の付属機関の委員の報酬である日額をベースに年額を算出する。

④その他の付属機関の委員の報酬日額

中心市である米子市と同額

（2）その他取扱方針

ア 中心市である米子市長の給料をベースに改定を行うことから、米子市長の給料の額が改定される場合には、その都度、本組合の特別職の報酬の額の改定について検討を行うものとする。

イ 県内類似団体との均衡を考慮し、上記の算出方法で算出した報酬額が、県内類似団体の特別職の報酬額と著しく乖離する場合は、改定の是非について改めて検討を行うものとする。

ウ 米子市長の給料額が増額改定となる一方で、算出に用いる比率の増減により、本組合の特別職の報酬の算出額が減額となる場合は改定を行わないものとする。また、米子市長の給料額が減額改定となる一方で、本組合の特別職の報酬の算出額が増額となる場合も改定を行わないものとする。

エ 介護及び障害認定審査会の委員の報酬日額については、委員となる医療関係者との調整が別途必要であることなどの理由から、県内三広域の協議により県内で報酬日額を統一しているため、改定に当たっては、県内三広域の審査会担当部署において検討を行うものとする。

3 算出式及び算出額

(1) 管理者の報酬

【算出式】

市長の給料月額 1,012,000 円 × 12 か月 × 予算規模比率 8.7% × 従事日数比率 6.6%

【算出結果】(千円未満切捨て)

年額 69,000 円

(備考) 予算規模比率及び従事日数比率の計算

	米子市	組合	比率	摘要
予算規模比率 (一般会計予算)	851 億円	74 億円	8.7%	令和 7 年度当初予算
従事日数比率 (管理者の従事日数※1)	243 日	16 日	6.6%	令和 6 年度実績

※1 従事日数：管理者が、組合議会、正副管理者会議その他これらに係る組合用務に従事した日数

(2) 副管理者、議長、副議長、議員、監査委員（議員選任）の報酬

【算出式】

管理者報酬の改定後の額 69,000 円 × 各職の対管理者報酬比率※2

【算出結果】(千円未満切捨て)

職名	報酬の額（年額）	対管理者報酬比率
副管理者	55,000 円	0.80
議長	51,000 円	0.74
副議長	41,000 円	0.60
議員	37,000 円	0.54
監査委員（議員選任）	19,000 円	0.28

※2 対管理者報酬比率：改定基準により令和 2 年度時点の対管理者報酬比率（令和 6 年 4 月 1 日改定の計算に用いた比率と同じ）

(3) 監査委員（識見を有する者）の報酬

【算出式】

その他の附属機関の委員報酬日額 7,500 円 × 年間の監査等実施日数 12 日

【算出結果】

年額 90,000 円

(4) 介護及び障害認定審査会の委員の報酬

現在のところ、県内三広域において委員の報酬額の改定について検討されていないため、改定は行わないものとする。

(5) その他の附属機関の委員の報酬

【算出方法】

米子市のその他の附属機関の委員の報酬（日額）7,500 円と同額

【算出結果】

日額 7,500 円

4 報酬の額の改定案

上記の算出額は、県内類似団体の特別職の報酬の額と概ね均衡すると考えられるため、本組合特別職の報酬の額を次のとおり改定する。

職名		現行	改定後
管理者		年額 64,000 円	年額 69,000 円
副管理者		年額 51,000 円	年額 55,000 円
議会の議員	議長	年額 47,000 円	年額 51,000 円
	副議長	年額 38,000 円	年額 41,000 円
	議員	年額 34,000 円	年額 37,000 円
監査委員	議会の議員のうちから選任された委員	年額 17,000 円	年額 19,000 円
	識見を有する者のうちから選任された委員	年額 86,400 円	年額 90,000 円
その他の附属機関の委員		日額 7,200 円	日額 7,500 円

5 今後のスケジュール

- 令和8年1月30日 総務消防常任委員会にて改定案の説明
- 令和8年2月20日 令和8年2月組合議会定例会への条例改正（案）及び当初予算の上程
- 令和8年4月 1日 報酬の額の改定

【参考】

○現行の報酬の額及び改定年度

職名		報酬の額	直近の改定
管理者		年額 64,000 円	令和6年度
副管理者		年額 51,000 円	
議会の議員	議長	年額 47,000 円	
	副議長	年額 38,000 円	
	議員	年額 34,000 円	
監査委員	議会の議員のうちから選任された委員	年額 17,000 円	
	識見を有する者のうちから選任された委員	年額 86,400 円	
介護認定審査会 及び障害認定審 査会の委員	委員長(委員長の職務を代理した者を含む。)	日額 16,800 円	平成13年度
	委員	日額 14,000 円	
その他の附属機関の委員		日額 7,200 円	令和2年度

○県内類似団体の報酬の額

職名	中部		東部	
	報酬の額	直近の改定	報酬の額	直近の改定
管理者	年額 50,000 円	平成 10 年度	年額 70,000 円	平成 9 年度
副管理者	年額 40,000 円		年額 48,000 円	
議会の議員	議長	年額 35,000 円	年額 45,000 円	
	副議長	年額 31,000 円	年額 40,000 円	
	議員	年額 30,000 円	年額 35,000 円	
監査委員	議会の議員のうちから選任された委員	年額 11,000 円	年額 17,000 円	
	議見を有する者のうちから選任された委員	年額 75,500 円	年額 35,000 円	
	代表監査委員	年額 85,800 円		

○県内類似団体の管理者の報酬の額に対する議員等の報酬の額の比率

職名	対管理者報酬比率		
	中部	東部	西部
管理者	1.00	1.00	1.00
副管理者	0.80	0.69	0.80
議会の議員	議長	0.70	0.64
	副議長	0.62	0.57
	議員	0.60	0.50
監査委員	議会の議員のうちから選任された委員	0.22	0.24

○米子市長の給料の額に対する米子市議会議員等の報酬等の額の比率

職名	対市長給料比率
市長	1.00
副市長	0.83
議会の議員	議長
	副議長
	議員
監査委員	議会の議員のうちから選任された委員

消防施設個別施設計画及び第8次消防力等整備5ヶ年計画の一部変更について

消防施設個別施設計画については令和3年1月開催の正副管理者会議において、第8次消防力等整備5ヶ年計画については令和3年11月開催の正副管理者会議においてそれぞれ承認され、その後老朽化した消防庁舎の改修を計画的に行っているところであるが、これまでの改修実績から一部庁舎の改修時期や計画額を変更するもの。

併せて、老朽化した米子消防署の空調設備改修を計上するもの。

1 江府消防署生山出張所大規模改修事業及び独身寮大規模改修事業について

(1) 変更理由

江府消防署生山出張所は令和8年度に設計業務、令和9年度に改修工事を予定しており、隣接する独身寮は令和10年度設計業務、令和11年度改修工事を予定している。

独身寮は現在居住している職員はなく、一部倉庫として活用するなど、狭小な庁舎を補完する形で使用している現状がある。

以上のことから、当該出張所と独身寮の大規模改修を併せて検討・改修工事を行うことにより効果的かつ経済的な改修を目指すもの。

(2) 変更のスケジュール（変更前： 変更後： ）

年度		R 8	R 9	R 10	R 11
業務内容	改修内容				
出張所	協議・検討				
	実施設計業務				
独身寮	大規模改修工事				
	実施設計業務				
	大規模改修工事				

(3) 主な検討事項

- ア これまでの出張所庁舎改修を踏まえた、庁舎レイアウトについて（基本構想）
- イ 独身寮の使用用途変更（寮 → 倉庫等）について
- ウ 独身寮を廃止する場合の土地整理について

(4) 江府消防署生山出張所庁舎（S51建築）の不具合について

個別施設計画及び最新の巡回点検(R6.11.7)による、主な不具合は以下のとおり。

- ア 外部：外壁、犬走り、車庫内壁面及び床面の劣化（クラック、浮き、シーリング劣化）
- イ 屋上：防水シートの劣化
- ウ 内部：仕上げ劣化（クラック、タイル浮き）
- エ 敷地：アスファルトの窪地及びホース洗い場のクラック

築50年程度が経過し老朽化は進んでいるが、現在のところ緊急修繕が必要な箇所はないため、当該出張所における設計業務・大規模改修の1年延期は影響ないと判断する。

2 消防局庁舎大規模改修事業について

(1) 変更理由

当該事業は令和9年度に設計業務、令和10年度に改修工事を予定しているが、改修範囲が広く（4812.90 m²）、効果的かつ経済的な改修の協議に時間を要すことから、以下のとおり令和9年度までに協議・検討を行い、その後の改修方針を決定するもの。

(2) 変更のスケジュール（変更前： ↘→ 变更後： ↭→ ）

年度		R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13
業務 (案)	改修内容 協議・検討	↔					
	基本計画書策定		↔				
	基本設計業務			↔			
	実施設計業務		↔		↔		
	大規模改修工事			↔		↔	

※設計業務及び改修工事は、改修範囲の規模から当初の1年間から2年間の想定とした。

協議後決定

(3) 主な検討事項

- ア 改修方針の決定（基本計画書・基本設計業務の必要性についても検討）
- イ 改修時の業務継続方法について
- ウ 改修時の講習会・演習訓練等開催場所について
- エ 車両大型化・増台に伴う車庫の増設又は新設について
- オ 3階指令センターの改修内容及び方法について
- カ 訓練棟（トレーニングルーム）における女性専用施設整備について

(4) 消防局庁舎（H5建築）の不具合について

個別施設計画及び最新の巡回点検(R6.11.14)による、主な不具合は以下のとおり。

- ア 外部：外壁、犬走り、雨水用排水路及びベランダ手摺の劣化（クラック、浮き、破損）
- イ 屋上：塗装部分の剥離
- ウ 内部：仕上げ劣化（クラック、タイル剥がれ）、3階職員階段部分の雨漏り
- エ 敷地：建物周辺地盤沈下、アスファルト亀裂、フェンスの劣化
- オ 訓練棟：外壁クラック、鉄骨部の錆、避難器具（訓練用）の破損

築30年以上が経過し老朽化が進んでいるが、現在のところ緊急修繕が必要な箇所はないため、設計業務・大規模改修の2～3年延期は影響ないと判断する。

3 大山消防署中山出張所大規模改修事業について

(1) 変更理由

上記1及び2の事業内容変更に伴い、各年度に事業が重複する事がないよう、事業年度の変更を行うもの。

(2) 変更後のスケジュール（変更前： 変更後： ）

年度 業務内容	R 1 0	R 1 1	R 1 2
実施設計業務			
大規模改修工事			

(3) 大山消防署中山出張所庁舎（S60 建築）の不具合について

個別施設計画及び最新の巡視点検(R6. 10. 28)による、主な不具合は以下のとおり。

ア 外 部：外壁の劣化（塗装剥離、亀裂）

イ 屋 上：モルタルの浮き

ウ 内 部：仮眠室雨漏り

エ 敷 地：フェンス基礎の劣化（クラック）

築40年以上が経過し老朽化が進んでいるが、現在のところ緊急修繕が必要な箇所はないため、設計業務・大規模改修の1年延期は影響ないと判断する。

4 消防施設改修費用の変更について

(1) 変更理由

消防施設の大規模改修工事は、当組合公共施設総合管理計画に基づき更新単価 250 千円/m² 仮設庁舎建設費用 11,600 千円として計画額を算出していた。

その後、社会情勢等の変化に伴い令和5年度に見直しを行い、更新単価約 350 千円/m²、仮設庁舎建設費用 17,000 千円（R5. 11 事務局施設管理課積算）として、第8次消防力等整備5ヶ年計画（令和3年度～令和9年度）の計画額変更を行っている（消防局庁舎除く）。

このたび、消防施設個別施設計画についてもスケジュール変更と併せて計画額の変更を行うもの。

また、実績に伴い設計費を工事費の 20%から 10%に変更する。

(2) 変更額

（単位：千円）

	工事費			設計費		
	変更前	変更後	差額	変更前	変更後	差額
弓浜出張所 251.88 m ²	74,500	105,000	30,500	R7 に実施。予算額 11,552 千円		
生山出張所 229.70 m ²	69,000	97,000	28,000	11,400	9,700	△1,700
中山出張所 330.29 m ²	94,100	132,000	37,900	16,500	13,200	△3,300
生山寮 107.00 m ²	26,700	37,000	10,300	5,300	3,700	△1,600
古峰山中継所 28.73 m ²	7,100	10,000	2,900	1,400	1,000	△400

※消防局の工事費及び設計費に変更はないが、各年度の事業費を総額の2分の1とした。

5 米子消防署空調設備改修工事について

(1) 変更理由

米子消防署空調設備については、平成19年度の整備から18年以上が経過しており、特に近年故障が頻発している。

今後故障が発生した場合、故障部位によっては交換部品の調達が困難であることから、早急に改修を行うもの。

なお、空調設備については各施設の老朽化の状況を踏まえ、都度更新時期を検討している。

【参考：他団体（県内消防局）の空調設備改修方針】

- ・東部消防局・・・15年を更新の目安としている。
- ・中部消防局・・・老朽化の状況を踏まえ、都度更新時期を検討している。

(2) 改修時期

令和9年度

(3) 改修費用

54,648千円

消防施設個別施設計画(別表)

	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	2031(R13)
消防局						協議・検討	設計業務 240,600 基本計画書策定	庁舎改修工事 1,203,000 基本設計業務 60,100	実施設計業務	庁舎改修工事(前期) 60,100	庁舎改修工事(後期) 601,500
大山消防署	設計業務 24,027	庁舎改修工事 機能強化工事 248,570									
江府消防署			設計業務 126,200	移転・新築工事 631,000 9,400	庁舎解体工事 31,000						
皆生出張所											
南部出張所		設計業務 14,330	庁舎改修工事 129,800 指令・無線設備等移設関係 9,400								
伯耆出張所				設計業務 14,080	庁舎改修工事 82,000 指令・無線設備等移設関係 9,400						
弓浜出張所					設計業務 12,500	庁舎改修工事 105,000 74,500 指令・無線設備等移設関係 9,400					
中山出張所							設計業務 協議・検討 16,500	庁舎改修工事 94,400 指令・無線設備等移設関係 9,400 設計業務 13,200	庁舎改修工事 132,000 指令・無線設備等移設関係 9,400		
生山出張所						設計業務 協議・検討 11,400	庁舎改修工事 69,000 指令・無線設備等移設関係 9,400 設計業務 9,700	庁舎改修工事 97,000 指令・無線設備等移設関係 9,400			
生山寮						協議・検討	設計業務 3,700	改修工事 5,300 改修工事 37,000	改修工事 26,700		
古峰山無線 中継所							協議・検討	設計業務 1,000 1,400	改修工事 10,000 7,100		
合計	24,027	262,900	265,400	654,480	134,900	114,400 95,300	13,400 319,000	204,500 1,226,200	83,300 137,300	742,900 0	601,500 0

※工事費 ・大山消防署、江府消防署、南部出張所の工事費用については、本組合施設管理課が改修工事内容に基づき算出したもの。・その他の庁舎改修工事費用は「公共施設等総合管理計画」に基づき、「建物総延床面積×公共建築物分類別更新単価(大規模改修25万円/m²)」により算出したもの。・令和8年度以降は「建物総延べ床面積×更新単価(大規模改修35万円/m²)」で算出したものに仮設庁舎費用(17,000千円)を含めたもの。【R5.11時点 事務局施設管理課積算】なお、今後の社会情勢等の変化により、更新単価は変動する場合がある。※設計費 ・「公共施設等総合管理計画」に基づき、工事費の20%で算出したもの。・令和8年度以降は実績に基づき工事費の10%で算出したもの。

第8次消防力等整備5ヶ年計画

鳥取県西部広域行政管理組合消防局 (単位:千円)

年度 区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
庁舎	消防施設の改修等	南部出張所庁舎改修工事 129,800	江府消防署庁舎移転・新築工事(前期) 143,000	江府消防署庁舎移転・新築工事(後期) 517,000	弓浜出張所庁舎改修工事 105,000
		江府消防署庁舎設計業務 126,200	伯耆出張所庁舎設計業務 11,500	伯耆出張所庁舎改修工事 115,000	生山出張所庁舎設計業務 9,700
				弓浜出張所庁舎設計業務 10,500	消防局庁舎設計業務 120,300
				江府消防署庁舎解体工事 31,000	生山出張所庁舎設計業務 9,700
	消防施設改修工事に伴う 指令・無線設備等移設関係	南部出張所庁舎改修工事に伴う移設 9,400		伯耆出張所庁舎改修工事に伴う移設 9,400	米子消防署空調改修工事 54,648
				弓浜出張所庁舎改修工事に伴う移設 9,400	生山出張所庁舎改修工事に伴う移設 9,400
				江府消防署庁舎改修工事に伴う移設 9,400	
				9,400	
車両等の更新整備	消防ポンプ自動車				
	水槽付消防ポンプ自動車			皆生タンク車・21年(緊援) 61,200	大山タンク車・21年(緊援) 61,200
	救助工作車		境港工作車・26年(緊援) 122,300		
	化学消防ポンプ自動車 梯子車	境港梯子車・27年(防衛) 236,400	境港化学車II型・25年(防衛) 71,300	米子梯子車・26年(緊援) 260,000	
	高規格救急車 高度救命処置用資機材		南部救急車・10年(緊援) 33,700	米子救急1号車・10年(緊援) 33,700	弓浜救急車・10年(防衛) 33,700
				伯耆救急車・10年 33,700	大山救急車・10年(緊援) 33,700
	その他特殊車 (NBC特殊搬送車)				
	指揮車	米子指揮車・17年 9,200			
指令施設等の維持管理	高機能消防指令センター・消防救急デジタル無線更新に係る調達支援事業	高機能消防指令センター・消防救急デジタル無線更新に係る調達支援事業 9,800	高機能消防指令センター・消防救急デジタル無線更新事業(前期) 0	高機能消防指令センター・消防救急デジタル無線更新事業(後期) 1,461,200	
			高機能消防指令センター・消防救急デジタル無線更新に係る構築監理事業(前期) 0	高機能消防指令センター・消防救急デジタル無線更新に係る構築監理事業(後期) 14,100	
その他					
合 計		520,800	188,200	2,428,600	469,300 479,000
					192,948 355,300

※消防庁舎大規模改修等に係る費用(概算)

◆工事費・設計業務委託費について

・南部出張所庁舎改修工事費、江府消防署庁舎設計業務費及び移転・新築工事費は本組合施設管理課により算出したもの

・令和7年度以降の庁舎改修工事費用については「建物総延床面積×更新単価(大規模改修35万円/m²)」で算出したものに仮設庁舎費用(17,000千円)を含めたもの。【R5.11時点 事務局施設管理課積算】
なお、今後の社会情勢等の変化により、更新単価は変動する場合がある。

・令和6年度以降の庁舎設計業務費用については工事費の10%で算出したもの。

◆高機能消防指令センター・消防救急デジタル無線更新事業について

・2カ年事業への変更に伴い、事業開始年度の令和6年度は0円計上とし、計画額を事業完了年度の令和7年度へと変更する。

資料 3

令和 8 年 1 月 30 日
総務消防常任委員会
消 防 局 総 務 課

令和 7 年中における火災・救急統計について

令和 8 年 1 月

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

火災概況

1 市町村別火災状況(P2)

(令和7年12月中の火災については調査中のものもあり速報値を記載)

令和7年中の火災件数は103件で、前年と比較し29件増加しました。そのうち、建物火災は41件で前年と比較し6件増加、林野火災は0件で1件減少、車両火災は11件で5件増加、船舶火災は0件で前年と同数、その他火災は51件で19件増加しました。

市町村別に前年と比較し、米子市12件増、境港市4件増、日吉津村1件増、大山町9件増、南部町6件増、伯耆町2件減、日南町3件減、日野町同件数、江府町2件増となりました。

火災による死者は6名、負傷者は17名でした。

損害額は26億6,392万5千円で、前年と比較し25億4,500万円増加となりました。損害額の増加は、令和7年に大規模な豚舎火災が発生したことが主な要因です。

2 出火原因(P2)

出火原因は「たき火」が最も多く29件、次いで「その他」が20件、「排気管」が6件、となっています。

前年と比較し「こんろ」、「排気管」、「たき火」、「その他」が増加、「たばこ」、「ストーブ」、「放火」による出火原因が減少しました。

「その他」の主なものは、火のついたゴミ、間接雷、車両内配線、線香によるものなどです。

3 過去10年間の市町村別火災状況(P3)

過去10年の火災件数をみると、令和元年までは100件前後で推移していましたが、令和2年からは6年連続で100件以下となり、令和7年は過去10年間でみると平均的な火災件数の年となりました。

4 総評

火災件数103件のうち、建物火災が41件と約40%を占め、その建物火災の約7割が住宅火災となっています。また、火災原因では、車両の排気管による火災が増加しています。

火災による死者6名は、住宅火災により3名、その他火災により1名発生しており、火災による死者6名のうち4名が65歳以上の高齢者となっています。

令和7年の火災件数は、前年と比較し大幅な増加を示しました。特に草火災など「その他火災」の増加が顕著であり、屋外での火の取り扱いに対する防火指導の重要性が一層高まっております。また、火災による死者の3分の2は高齢者であり、高齢者に対する防火広報及び防火指導の強化が急務と考えます。

今後は、地域全体における住宅用火災警報器の設置、維持管理を促進するとともに、高齢者をはじめとする住民に対する効果的な防火啓発活動を推進し、火災による死者“ゼロ”的実現に取り組んでまいります。

鳥取県西部庁行政管理組合消防局

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

市町村名	火災件数										焼損面積						損傷額(千円)							
	合計			建物			林野			床面積m ²			林野a			焼損棟数			死者		負傷者			
	火災件数	建物	林野	船舶	車両	船舶	その他	床面積m ²	災害世帯数	災害人員	死者	負傷者												
計	48(+12)	21(+4)	6(0)	21(+1)	6(0)	21(+7)	2,141(+904)	154(+148)	154(0)	154(0)	14(+6)	14(+2)	14(+3)	14(+2)	14(+3)	14(+2)	14(+6)	29(+9)	63(+21)	2(-1)	6(0)	121,222(+44,151)		
米子市	11(+4)	3(-3)	8(0)	8(0)	8(0)	8(0)	8(-194)	86(-86)	86(0)	86(0)	6(-6)	6(-1)	6(-6)	6(-2)	6(-1)	6(-2)	6(-2)	3(-6)	1(-6)	1(-17)	0(0)	7(+7)	15,550(+6,266)	
境港市	1(+1)	1(+1)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	10(+10)	10(0)	10(0)	10(0)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	332(+332)	
日吉津村	19(+9)	8(+3)	5(0)	5(+5)	5(0)	5(+1)	6(+2,239)	6(+189)	6(+189)	6(+189)	7(+5)	7(+3)	7(+13)	7(+5)	7(+3)	7(+1)	7(+1)	7(+1)	28(+17)	1(+10)	1(+17)	1(-2)	1(-1)	59,396(+45,774)
大山町	10(+6)	3(+1)	3(0)	3(0)	3(0)	3(0)	7(+5)	7(+11,998)	7(+11,998)	7(+11,998)	9(+9)	9(+7)	9(+1)	9(+7)	9(+7)	9(+7)	9(+7)	2(+2)	2(+2)	2(+2)	2(+2)	2(+2)	1(+1)	2,435,239(+2,434,294)
南部町	6(-2)	3(+2)	3(0)	3(-1)	3(0)	3(-3)	3(+94)	3(+94)	3(+94)	3(+94)	2(+2)	2(+2)	2(+2)	2(+2)	2(+2)	2(+2)	2(+2)	1(+2)	1(+2)	1(+2)	1(+2)	1(+2)	1(+1)	4,469(+2,428)
伯耆町	2(-3)	1(-1)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(-2)	1(-124)	1(-124)	1(-124)	1(-5)	1(-4)	1(-5)	1(-4)	1(-5)	1(-4)	1(-4)	1(-1)	1(-1)	1(-1)	1(-1)	1(-1)	1(-1)	1,876(-129)
日南町	2(0)	1(-1)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(+155)	1(+155)	1(+155)	1(+155)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	1(+1)	25,841(+12,184)
江府町	4(+2)	0(-1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	4(+3)	4(0)	4(0)	4(0)	(-144)	(-144)	(-144)	(-144)	(-144)	(-144)	(-144)	(-144)	(-144)	(-144)	(-144)	(-144)	(-144)	(-144)
合計	103(+29)	41(+6)	11(-1)	11(+5)	11(0)	11(+19)	17,253(+15,082)	358(+249)	358(+249)	358(+249)	95(+37)	95(+37)	95(+37)	95(+37)	95(+37)	95(+37)	95(+37)	24(+8)	21(+8)	52(+17)	114(+37)	6(0)	17(+7)	2,663,925(+2,545,000)

() 前年比増減数

4

出火原田

	合計	たばこ	かまど	こんろ	こ	かまど	じ風呂	かましま	ボイラー	煙突	排氣管	電氣機器	電氣装置	電燈配線	内燃機関	配線器具	火あそび	マツチ等	たき火	溶接機器	衝突火花	火入れ灰	取灰	放火	火疑	その他	調査中	
令和7年	103	2	4		1						3	4	2	3	4	1	1	29	2				1	1	20	21		
令和6年	74	5																							4	1	13	14

過去10年間の市町村別火災状況

救急概況

1 市町村別救急活動状況(P5)

令和7年の救急出動件数は、13,751件で前年と比較し517件の増加となりました。搬送人員は567人増加し12,906人となりました。

市町村別の出動件数は、米子市が449件増、境港市が89件減、日吉津村11件減、大山町77件増、南部町40件増、伯耆町17件増、日南町7件増、日野町29件増、江府町4件減、圏域外は2件の増となりました。

事故種別では、急病が8,852件(前年比13件増)、一般負傷が2,170件(前年比261件増)、転院搬送が1,502件(前年比171件増)、交通事故が694件(前年比46件増)の順となりました。

令和7年は、救急出動件数が増加(前年比約104%)し、過去最多を更新する状況となりました。増加の要因は、高齢者の一般負傷(転倒や誤嚥等)による増加、また高度な医療が必要な患者を専門医療病院へ転院搬送する救急要請の増加により出動件数が増加したと考えられます。

2 令和7年(比較令和6年)月別出動(P6)

1月及び2月に大幅に救急要請が増加しましたが、これは新型コロナウイルス感染症、インフルエンザウイルス感染症、感染性胃腸炎等の感染が拡大し、それに伴う救急搬送が増加したと考察します。

3 熱中症年別月別搬送人員(P7)

令和7年の熱中症搬送人員は、前年より4人減の290人で過去最高であった前年に比べ微減の搬送者数となりました。令和7年も6月の早い時期から長期に渡り高温の気象状況が継続したため、熱中症の救急件数が前年とほぼ同様であったと考察します。また、重症例が9症例発生し、前年に次ぐ重傷者数となりました。年齢区分で見ると、高齢者の重症化が顕著であり、今後も高温の気象状況下での外出等の危険性を広報する必要があると考えます。

4 過去5年間の市町村別救急活動状況(P8)

救急出動件数は、令和2年に新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少しましたが、令和4年には行動制限の緩和による人流が活発化し過去最多の件数となり、令和5年から令和6年、令和7年と更に増加する状況となりました。

5 総評

令和7年の救急出動件数の増加要因は、高齢者の一般負傷(転倒や誤嚥等)の増加に伴うものと考察します。将来、各市町村の高齢化が進むにつれて、さらに救急件数が増加することが推測されます。

また、地球温暖化にともなう気候変動や、各種感染症の感染拡大に伴い救急件数が大きく増加する可能性もあり、社会情勢を注視するとともに、災害対応体制の堅持に万全を期してまいります。

市町村別救急活動状況

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

市町村名	総数		火災		自然災害		水難		交通		労働災害		運動競技		一般負傷		加害		自損行為		急病		転院搬送		その他		
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	
米子市	8,853 (+449)	8,268 (+484)	28 (+11)	6 (+1)	1 (+1)	1 (+1)	8 (+3)	4 (+3)	463 (+40)	448 (+58)	74 (+17)	73 (+17)	47 (-25)	47 (-27)	1,339 (+142)	1,302 (+160)	21 (-2)	15 (-4)	77 (+18)	61 (+1)	5,762 (+186)	5,368 (+202)	953 (+62)	942 (+55)	80 (±0)	1 (+1)	
境港市	1,770 (-89)	1,684 (-88)	5 (+1)	3 (+3)	0 (±0)	0 (±0)	2 (-3)	0 (-2)	82 (-5)	78 (-7)	27 (-2)	28 (-1)	16 (+8)	16 (+8)	257 (±0)	247 (-5)	4 (-3)	3 (-4)	13 (+1)	10 (+1)	1,178 (-114)	1,120 (-115)	181 (+35)	179 (+34)	5 (-7)	0 (±0)	
日吉津村	183 (-11)	168 (-18)	1 (+1)	1 (+1)	0 (±0)	0 (±0)	0 (-1)	0 (-1)	23 (+11)	21 (+9)	3 (-5)	3 (-5)	2 (±0)	1 (-1)	33 (+2)	32 (+1)	0 (±0)	0 (+1)	3 (±0)	2 (+1)	105 (±0)	98 (-27)	10 (+5)	10 (+5)	3 (+2)	0 (±0)	
大山町	1,041 (+77)	965 (+66)	12 (+7)	0 (+0)	0 (-2)	0 (-1)	1 (±0)	0 (-1)	53 (+6)	46 (+6)	15 (-2)	15 (-2)	12 (+2)	12 (+2)	211 (+54)	198 (+51)	0 (±0)	0 (±0)	7 (+2)	4 (-1)	669 (±0)	635 (-5)	55 (+17)	55 (+17)	6 (-1)	0 (±0)	
南部町	542 (+40)	519 (+54)	4 (+3)	1 (+1)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	19 (+2)	21 (+5)	2 (-3)	2 (-3)	2 (-1)	2 (-1)	85 (+15)	79 (+11)	0 (±0)	0 (±0)	8 (+4)	4 (+1)	325 (+13)	315 (+9)	97 (+33)	95 (+31)	0 (±0)	0 (±0)	
伯耆町	585 (+17)	555 (+16)	2 (+0)	0 (+0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	23 (-2)	23 (-2)	6 (+1)	6 (+1)	5 (+2)	5 (+2)	125 (+30)	120 (+27)	0 (±0)	0 (±0)	0 (-7)	0 (-5)	367 (-21)	349 (-18)	52 (+10)	52 (+11)	5 (+4)	0 (±0)	
日南町	331 (+7)	320 (+17)	1 (-1)	0 (-1)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	6 (-2)	6 (-2)	5 (±0)	5 (±0)	0 (+2)	0 (+2)	48 (-5)	48 (-2)	0 (±0)	0 (±0)	3 (-1)	3 (-1)	219 (+19)	209 (+18)	49 (-2)	49 (-1)	0 (-3)	0 (±0)	
日野町	237 (+29)	229 (+34)	1 (-1)	2 (+2)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	10 (-3)	12 (-2)	5 (+5)	5 (+5)	1 (+7)	1 (+7)	34 (+15)	33 (+15)	0 (±0)	0 (±0)	1 (+1)	0 (+1)	103 (-6)	96 (-4)	80 (+16)	80 (+17)	1 (+1)	0 (±0)	
江府町	204 (-4)	197 (+2)	2 (+2)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	12 (+5)	14 (+5)	4 (±0)	4 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	38 (+8)	36 (+9)	0 (±0)	0 (±0)	1 (±0)	0 (±0)	123 (-12)	119 (-8)	24 (-6)	24 (-6)	0 (-1)	0 (±0)	
邑城外	5 (+2)	1 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	3 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	1 (+1)	1 (+1)	1 (+1)	1 (+1)	0 (±0)	0 (±0)		
合 計	13,751 (+517)	12,906 (+567)	56 (+23)	13 (+7)	1 (-1)	1 (-1)	1 (±0)	1 (-1)	12 (-1)	4 (-1)	694 (+46)	669 (+73)	141 (+13)	141 (+14)	84 (-13)	2,170 (+261)	2,095 (-5)	25 (-5)	18 (-8)	113 (+15)	84 (+14)	8,852 (+52)	8,309 (+13)	1,502 (+171)	1,487 (+164)	100 (-5)	1 (+1)

前年合計

合 計	13,234	12,339	33	6	2	1	13	5	648	596	128	127	98	100	1,909	1,828	30	26	98	70	8,839	8,257	1,331	1,323	105	0
-----	--------	--------	----	---	---	---	----	---	-----	-----	-----	-----	----	-----	-------	-------	----	----	----	----	-------	-------	-------	-------	-----	---

()は前年比増減数

令和7年(比較 令和6年)月別出動

出動作件數比較(件)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年	1,100	1,058	1,139	1,016	989	1,061	1,237	1,298	1,020	1,046	1,013	1,257	13,234
令和7年	1,330	1,221	1,102	1,007	1,049	1,099	1,238	1,200	1,079	1,048	1,118	1,260	13,751
比較	230	163	-37	-9	60	38	1	-98	59	2	105	3	517

搬送人員比較(人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年	1,021	1,008	1,044	946	945	992	1,165	1,182	964	978	936	1,158	12,339
令和7年	1,238	1,121	1,030	958	985	1,035	1,166	1,141	1,026	979	1,036	1,191	12,906
比較	217	113	-14	12	40	43	1	-41	62	1	100	33	567

熱中症年別月別搬送人員(統計期間：令和3年4月～令和7年10月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	前年比較	重症例 以上
令和3年	0	5	15	65	47	6	6	144	-33	重症5
令和4年	3	14	45	88	65	26	4	245	101	死亡1 重症3
令和5年	3	17	18	110	90	14	2	254	9	死亡2 重症5
令和6年	3	17	32	94	99	49	0	294	40	重症11
令和7年	3	9	40	123	83	31	1	290	-4	重症9

R7 重症内訳

- 1 路上で倒れているのを通行人が発見し救急要請されたもの。
 2 屋内で高温環境下で意識レベル低下、発熱、ショック状態にになったもの。
 3 3日間食事がとれず、体動困難となったもの。
 4 腹臥位で倒れているのを同僚に発見されたもの。
 5 自宅で食欲不振となり動けなくなつたもの。
 6 自宅で体動困難となったもの。
 7 煙で倒れているのを発見されたもの。
 8 意識がなく呼吸が速いため救急要請されたもの。
 9 居室内で倒れているのを包括支援センター職員により発見されたもの。

82歳男性
 93歳女性
 78歳男性
 59歳男性
 86歳女性
 58歳男性
 95歳男性
 87歳男性
 74歳女性

過去5年間の市町村別救急活動状況（令和3年～令和7年）

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
米子市	搬送件数	7,008	7,920	8,380	8,404	8,853
境港市	搬送件数	6,529	7,358	7,816	7,784	8,268
日吉津村	搬送件数	1,476	1,684	1,839	1,859	1,770
大山町	搬送件数	1,391	1,596	1,732	1,772	1,684
南部町	搬送件数	152	213	163	194	183
伯耆町	搬送件数	147	203	156	186	168
日野町	搬送件数	822	894	913	964	1,041
江府町	搬送件数	764	838	863	899	965
境域外	搬送件数	450	480	528	502	542
合計	搬送件数	11,124	12,454	13,190	13,234	13,751
	搬送人員	10,392	11,637	12,365	12,339	12,906